

## 全校集会 学校長の話（2025年7月8日）

- おはようございます。梅雨も明け大分経ちますが、今朝家を出るころには蝉が大合唱をしていました。きょうも暑さ対策として放送での集会です。教室のエアコンや扇風機の音が聞こえるかもしれませんが、みなさんの命と健康を守るための大切な配慮です。暑さから身を守ることもまた、人が人として大切にされる権利のひとつです。喉が渇いた友だちに「水飲んどきや」と声をかける、具合が悪そうな人に保健室へ付き添う。そうした行動をとれる人にぜひなってほしいと願っています。
- さて、昨日は七夕でした。ある教室の前には、皆さんが書いた短冊が飾られていたので読んでみました。「部活でいい結果を出したい」、「うちのクラスがすべての行事で優勝できますように」、「テストの点数を上げたい」など、ひとりひとり違う願いが書かれていました。その多様な願いを見ながら、私は「人はみんな、願う権利を持っている」という当たり前のことを改めて感じました。どんな背景をもつ人でも、どんな個性をもつ人でも、自分の未来を描く自由と尊厳がある——それが人権の原点だと感じました。
- また、家や地域で短冊を書いた人もいるでしょう。中には、人には言いづらい悩みや繊細な願いを記した人もいると思います。その一枚一枚には、本人にとって大切な気持ちが込められています。皆さんへお願いしたいことは、自分の願いを大切に扱ってほしいと思うのと同じように、他の人の願いも尊重してください。誰かの外見、家庭の事情、国籍、文化、宗教、性的指向や性自認を笑いの種にしたり、排除したりする行為は、相手の尊厳を傷つける人権侵害です。北稜中学校が、すべての生徒の願いを大切にできる学校であり続けることを願います。
- 夏休みまで、あと少しです。部活の大会やコンクール、家族との予定など、学校の外で過ごす時間が増えます。そこで自分のことだけでなく、友だちの努力や夢を応援する。そうした姿勢は、社会のどこに行っても皆さんの強みになります。
- 最後になりますが、七夕に書いた願いは、書いて終わりではありません。実現のために動き出してください。練習を続ける。毎日決めた時間に勉強する。こうした行動の積み重ねが、願いを現実に変えていきます。
- それではきょうも暑くなります。水分を取り、無理をせず、互いに声を掛け合いながら安全に過ごしましょう。